

編集：大阪市立総合医療センター 地域医療推進委員会
〒534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22
<http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/>

和



公園に咲くコスモスの目線から見える
大阪市立総合医療センターの一角

大阪市立総合医療センター

3Hの理念

Heart For Public Service

広く市民に信頼され、地域に貢献する公立病院をめざす。

Humane

人間味あふれる暖かな医療を実践する病院をめざす。

High-technology

高度な専門医療を提供し、優れた医療人を育成する病院をめざす。

～掲載内容～

○チーム医療の活動紹介

「Rapid Response Team(RRT) 院内急変対応チーム」

○「渡航者ワクチン外来」について

○乳がんにかかる当院のサポート体制

○健康豆知識

「知っていますか？当院のがん患者さん就労支援相談窓口」

○市民医学講座等のご案内

■ チーム医療の活動紹介

「RRT (Rapid Response Team) 院内急変対応チーム」

医療安全管理部 RRT 宮原 聡子

院内心停止の70%は、その6～8時間以内になんらかの症状やバイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸、体温など）の異常があるといわれています。急変すれば、患者さんへのダメージは大きくなり、重症の場合は生命予後にも関わってきます。RRS (Rapid Response System) は、患者急変を予防するために作られたシステムで、集中治療室外での死亡率を50%減少させることができると、海外の論文でも紹介されています。

当院でもこのシステムが2012年に導入され、院内急変対応チームが結成されました。メンバーは、救急医、集中治療医、救急認定看護師、小児救急認定看護師、集中ケア認定看護師、そして重症病棟で働くベテラン看護師たちです。院内急変対応チームが機能するためには、病棟看護師の観察力を抜きにしては語れません。いつも患者さんに接しているからこそ、患者さんのちょっとした変化を察知して、私たちに情報提供してくれています。先日も、「〇〇さん、いつもと呼吸状態が違います。診ていただけますか？」と依頼がありました。病室に伺ってチームの医師とともに診察をしましたが、今後さらなる呼吸状態の悪化が考えられたため、主治医と相談し、治療方針を確認したうえでICU（集中治療室）での治療を行うことになりました。そ



の患者さんは無事ICUから一般病棟に転棟され、退院されました。このように、病状が重症化する前に、主治医と相談しながらサポートをしていくのが私たちの役割であり、一人でも多くの患者さんの重症化を防ぐことができたらと考え、毎日病棟をラウンドしています。



■ 専門外来のご案内 「渡航者ワクチン外来」

大阪市立総合医療センター 感染症センター・感染症内科部長 後藤 哲志

◆現在、海外に渡航する日本人は年間 1600 万人を超えています。実に約 8 人に 1 人が海外に渡航する時代になっています。日本は病原体に対し衛生的で安全な国で、水道の水が飲料水として使える数少ない国です。海外には日本では想像もできない疾患（例：マラリア、狂犬病等）があります。そんなとこのために渡航者ワクチン外来を設置しています。

海外に赴任・出張、観光、留学あるいは移住、ホームステイ等の際には当院の渡航者ワクチン外来をご予約下さい。マラリアや高山病のご相談もお待ちしております。なお、ワクチン接種は余裕を見て出国 5 週間以上前から接種されることをお勧めします。

また、帰国後の体調不良がございましたら感染症外来を受診してください。

◎接種可能なワクチン及び予防薬

不活化ワクチン・トキソイド	DPT-IPV四種混合、DT二種混合、破傷風 狂犬病、日本脳炎、A型肝炎、B型肝炎、 ポリオ、肺炎球菌（プレバナー13、ニューモボックス）ヒブ（Hib） 髄膜炎菌、インフルエンザ
生ワクチン	麻しん風しん（MR）、麻しん、風しん、おたふくかぜ、水痘、BCG、 ロタウイルス
輸入ワクチン	腸チフス
予防薬	マラリア予防薬、高山病予防内服薬
黄熱	（※予約は大阪検疫所06-6571-3522まで）

予約方法：予約センター 06-6929-3634（直通）（事前予約制、祝日・年末年始除く）

接種日：○成人：毎週火・水・金曜日 14時30分～15時00分

○小児：毎週火・木曜日 13時30分～15時30分

料金：ホームページをご参照ください

http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/for_patient/senmon/vaccine.html

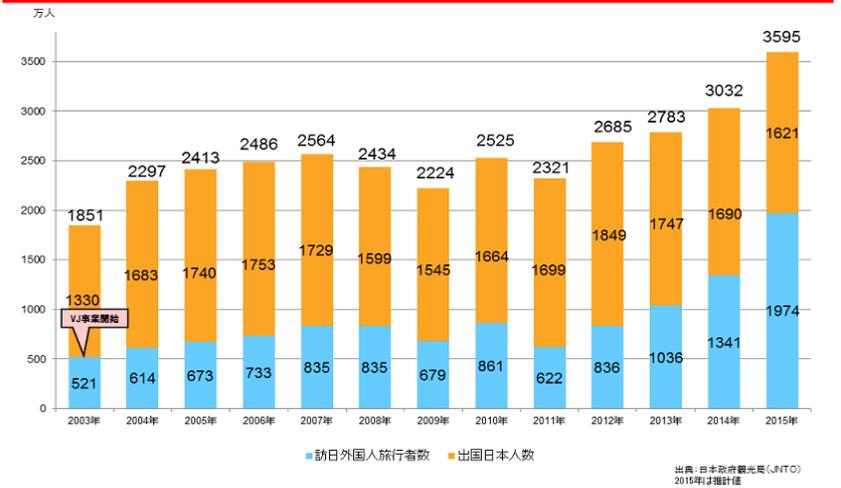
（渡航者ワクチン外来）



予防接種ワクチン料金表

※予防接種を受けるときには、これまでに接種したワクチンの種類、時期、回数などの情報が大切です。お子さんも、大人の方（昭和43年以降に生まれた方）も、母子手帳をお持ちの方は必ず持参するようお願いします。

訪日外国人旅行者数・出国日本人数の推移



■ がんの診療について

「乳がんの患者さんと当院のサポート体制」

大阪市立総合医療センター 緩和ケアセンター

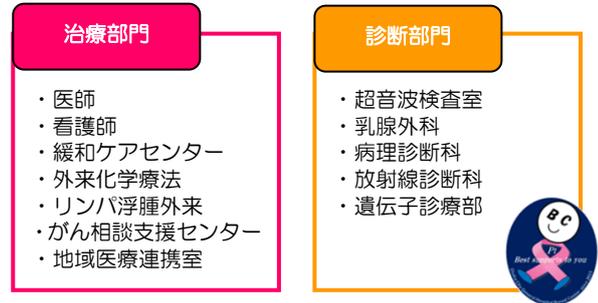
乳がん看護認定看護師 白石 知佳

乳がんは女性の約12人に1人が罹患するといわれており、40歳代後半から50歳代前半に発症のピークを迎えます。この年代の女性は家庭内で母、妻、娘（嫁）としての役割があり、職場や地域においては重要な役割を担っていることもあります。そのため、乳がんと診断された時には「がん」や「死」への恐怖心に加えて、様々な役割が果たせないことに辛さを感じます。また、乳房は女性の象徴であり、手術で乳房を切除することは心理的な負担が大きく、女性らしさの喪失感などを引き起こします。このような背景をもつ乳がん患者さんを支えるために、昨年、当院にはプレストセンターが設立されました。

プレストセンターは治療部門と診断部門があり、多職種で協働しながら乳がん患者さんのサポートを行っています。治療部門の医師は、乳腺外科だけでなく、治療の内容や時期に応じて形成外科、腫瘍内科、放射線腫瘍科がそれぞれの治療にあたります。看護師は、乳腺外科病棟の看護師が外来診察介助も担っているため、病棟-外来間で継続した看護を提供しています。緩和ケアセンターの専門・認定看護師は告知時から介入し、心理的サポートや治療選択の意思決定支援などを行っています。外来化学療法室では、看護師や薬剤師が抗がん剤の症状マネジメントを中心に行い、リンパ浮腫外来では医療リンパドレナージセラピストがリンパ浮腫のケアにあたっています。がん相談支援センターのがん相談員は、患者さんと相談してかかりつけ医を選定し地域連携パス導入の説明を行い、円滑に地域連携を推し進めています。地域医療連携センターの看護師や医療ソーシャルワーカーは、地域からの紹介受付や退院後の在宅支援サービスの継続に向けた調整を図っています。

診断部門では、超音波検査士やマンモグラフィ認定技師が各検査を担当し、乳腺外科・病理診断科・放射線診断科の医師が、確定診断を行っています。近年、全乳がんの5~10%は遺伝性乳がん卵巣がん症候群の可能性が示唆されており、家族歴や患者さんの希望に合わせて、遺伝子診療部と連携して治療にあたることもあります。その他に、リハビリテーション科の理学療法士、かかりつけ医や調剤薬局の薬剤師等と連携を図りながらサポートを行っています。

プレストセンター



がん患者サポートクラブ

リラックスヨガ体験教室 2ヵ月に1回



交流の場

乳がんの治療は手術で完結するものではなく、放射線療法や薬物療法を組み合わせで行われ、ホルモン療法では5~10年服薬を継続する必要があります。長期療養中の患者さんのがんサバイバーシップを高めるために、当院では「がん患者サポートクラブ」で乳がん患者さんを対象にリラックスヨガ教室（隔月）を開催しています。毎回15名程度の参加者が集い、ご自身の体験を共有し、ピアサポートの力を高めています。このように、乳がん治療は多職種によるチーム医療が必要不可欠であり、当院の総合力を発してサポートを継続することが大切です。

当センターが取り扱うがんの種類

肺がん・縦隔腫瘍／乳がん／胃がん／大腸がん／食道がん／肝がん／胆嚢がん・胆管がん／膵がん／前立腺がん／膀胱がん／腎がん／尿路がん／精巣がん／血液腫瘍（白血病、リンパ腫など）／子宮がん／卵巣がん／脳腫瘍／骨軟部腫瘍／頭頸部がん／小児がん／皮膚がん／原発不明がん／性腺外胚細胞腫瘍／眼腫瘍／口腔がん

大阪市立総合医療センター がん相談支援センター

当センターのがん相談支援センターでは、患者さん・ご家族・地域の皆様から、がんに関する相談に電話・面談にて対応しています。

がんについての不安や悩みをがん相談員が相談者の立場に立って一緒に考え、よい方法を見つけるお手伝いをします。

また、「治療とお仕事の両立について」の相談もお受けしており、ファイナンシャルプランナーの資格を持った専門家（がんライフアドバイザー®）と共に治療をしながら仕事を継続するうえでの悩みや、経済的な心配事などの相談をお受けします。どうぞお気軽にご相談ください。

お気軽にご相談ください！

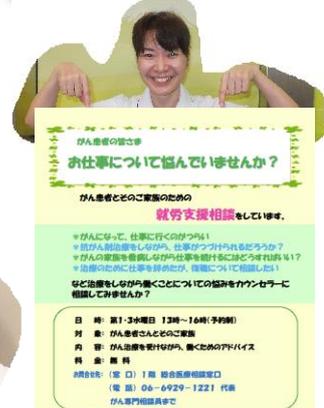


総合医療相談窓口

受付は総合医療相談窓口にお越しください



がん相談の風景



就労支援相談のパンフレット置いてます!!

市民医学講座のお知らせ

体験型市民公開セミナー

まんせいへいそくせいはいっかん

第1回慢性閉塞性肺疾患(COPD)認知度向上作戦 「あなたの肺は健康ですか？」

日時：12月2日（金）13:30~16:00

場所：さくらホール

参加費無料 申込み不要

- COPDってなに？
- 秘密の簡易検査（人数制限あり）
- 在宅酸素療法の展示
- 呼吸器リハビリテーション
- お薬相談・栄養相談
- 看護相談



咳・痰・息切れはありませんか？
40歳以上で喫煙歴のある方は要注意！



2016年度の世界COPDデーは11月16日(水)

大阪市立総合医療センター 沈黙の臓器

肝臓はつらいよ！
知ってほしい肝臓病の話

開催日：12月10日（土）

場所：大阪市立総合医療センター

時間：13:30~15:30

さくらホール

沈黙の臓器—肝臓が悪くなると
看護師 北村明香里 山本里香 田中愛
「わかる！血液検査」
検査技師 高橋 透
飛躍的に進歩したC型肝炎治療
薬剤師 中川朋美
座ってできるストレッチ
理学療法士 西村祐亮
肥満や糖尿病も「肝がん」の原因に
肝臓内科副部長 中井隆志
肝臓病にならない食事とお酒の話
栄養士 蔵本真宏

